

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	ふれあい市民運動会事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	施策番号	1 - 5	-
	総合計画書 (ページ)	43	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁵	保健体育費	目 ¹	保健体育総務費	事業 ³	スポーツ振興事業費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	---------	-----------------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住者
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 参加者を増加させたい。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者
	③ そのために何をしましたか。 実行委員会において、下記の内容について議論を行い運動会の運営を行った。 ・体験コーナーや抽選会の実施 ・盛り上がるイベント団体の選出 ・参加増が見込める競技種目選定	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 実行委員会の開催回数。

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/
	成果指標	②の数値	人	2,034	2,206	0(中止)	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	回	9	9	9	/	

3 経費	事業費(実績)		円	3,014,887	3,014,287	2,018,532	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,507,887	594,875	404,532	
		特定財源	円	1,507,000	2,419,412	1,614,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	6,613,600	6,602,400	6,595,200	
	職員人件費(再任用)	円	0	0			
事業費+人件費		円	9,628,487	9,616,687	8,613,732		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和45年10月から開始。スポーツ・レクリエーションを通じて地域コミュニティを広げるとともに、健康保持と相互交流を図る。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 自治会の加入率の減少等の理由で参加者が減少傾向であったが、自治会以外の参加者を増やす等、競技への参加形態など方針を変えて、参加者は少しずつ増加していた。30年度に関しては台風による荒天の影響で中止となった。

仕 事 の 内 容	ふれあい市民運動会事業				
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名 高田匡章

5 市民等の意見
この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
市内小学校と運動会の開催日程が重なったことにより、小学校の日程を変更してもらったが、そのためにいくつかの小学校と保育園の運動会の日程が重なるということがあった。そのため、小学生と保育園児のお子さんを持つご家庭から、もっと配慮した日程調整をして欲しいとの意見があった。

6 市民協働
(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取り組んだ	取組手法	②実行委員会 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
-------	------	---

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点
時期的に市内小学校の運動会とも日程が重なってしまうことがあるため、事前に調整をする必要がある。また調整の際には、自治会、青少対、市P連等とも実行委員会を通じて意見を交換する。

7 課題
(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
市民への運動会の認知をより一層広げる必要がある（特に市南側、新興マンションの地域）
また市内産業も含めて運動会を盛り上げていくような仕組みを作る必要がある。
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
実行委員を通じた広報活動により、今まで参加のなかった地区からも事前種目の申込みがあった。
(3)(2)を踏まえた今後の課題
地区別テントの他に、誰でも休めるテントを準備する。

8 今後の方向性
(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
30年度は運動会を実施できなかったため、今年度行おうとしていた競技の工夫などをしっかり引き継ぎ、更なる改善を目指す。
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
実行委員が議論しやすいための環境を整える。
(3)改革・改善案による期待成果
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------